

# 静岡の道路ネットワーク拠点と賑わいを考えるシンポジウム

道路を活用した魅力ある街づくりをテーマにした静岡の道路ネットワーク拠点と賑わいを考えるシンポジウム主催/静岡新聞社静岡放送 後援/国土交通省中部地方整備局などが先月6日、しずぎんホールユーフォニア(静岡市葵区)で開かれ、道路と結節点、モビリティを中心に議論が繰り広げられた。その模様を紹介する。

## 基調講演

### 道路ネットワーク上の拠点形成の必要性と静岡における可能性

前国土交通省道路局長 池田豊人氏

全国にある県庁所在地でも、静岡は街が賑わっているといわれています。ここからさらに静岡の街の魅力を上げるのに、ポイントとなるのが駅前です。駅前はその街の顔ですが、静岡駅前が人々がたどるという状況にはなっていない。静岡駅の北口は約5000坪にわたって横断歩道が一つもなく、街中へ行くには地下道を通らざるを得ません。課題として駅前を歩く人が少なく、高層ビルが失われてしまっています。叶うなら駅前から御幸通り、呉服町通り、国道を歩いて渡れることが望ましいと考えます。

## 事例紹介

### 用宗のまちづくりや静岡都心の「ビル泊」の取り組み

代表取締役CEO 小島孝仁氏

弊社は静岡市の不動産会社として用宗の開発と、中心商店街に「ビル泊」と銘打ったホテル事業を主に展開しています。用宗は棟貫したホテル、日帰り温泉施設、飲食店、ジェラート店運営のほか、近年には商業施設もオープンさせています。おかげさまで来訪者・宿泊者数は安定しています。また「ビル泊」は、中心商店街のビルの空き室を活用した分散型ホテルの提供です。これらの事業を通して感じていることは、人の集まる街づくりには、施設単体ではなくエリア全体で楽しめる空間の創出が必要で、例えば夜間のライトアップも限られた場所ではなく、街全体や街路など、広く活用するほど効果的です。道路は演出の場にもなるのです。

今年5月に道路法が改正され、カフェスペースや売店など、賑わいある道路空間を作る「歩行者利便増進道路制度」が作られました。ぜひ自治体が首頭をとって活用してほしいと願っています。

### 都市の魅力とは何か LIFULL HOME'S 総研所長 島原万丈氏

私は都市の研究を行い「セニアシティ(官能都市)」という報告書をまとめています。ここでの「官能」とは五感で楽しむという意味です。今、都市はとも均質化しています。魅力ある街とは何

### 道路ビジョンに対してMaaS導入がもたらす可能性

MaaS Tech Japan 代表取締役 日高洋祐氏

モビリティには鉄道やバス、飛行機など大量輸送が可能だけれど、コナのような状況での柔軟性がないものと、タクシーやレンタサイクル、自家用車など柔軟性は高いものがあります。MaaS(モース)はモビリティ・アズ・ア・サービスとはこうした多様な交通手段を、情報通信技術で統合連携させる概念です。このMaaSを活用したスマートシティ構想も生まれ、トヨタ自動車は裾野市をフィールドとして未来都市プロジェクトを発表しています。

### モビリティ革命が駅前まちを変える

理事兼研究本部企画戦略部長 牧村和彦氏

私は、将来の交通ビジョンを考える仕事をしていきます。コロナ禍の現在、5G(第五世代移動通信システム)でつながり、車の自動化、電動化を進める「CASE」という考えが、急速に広がっています。アメリカのアリゾナ州では昨年より自動運転サービスが運用され、わが国でも多くの実証実験が行われています。このモビリティ革命は層

## トークセッション

### 快適な移動と居たくなる道路

プロlogue 南山大学 石川良文教授

わが国では少子高齢化と人口減少に加え、感染症の拡大から働き方や意識が変わってきています。静岡市の大きな特徴と云えます。ちなみに、このランキングが高いほど、居住満足度と幸福度が高い傾向があります。静岡も居住満足度が高いと言えるでしょう。

### 街をより良くする議論に期待

石川 良文教授

私は2000年から4年間、県内の私立大学に勤務しましたが、以降も静岡県内各所との付き合いを続けております。本日はコディネーターを務めます。本日は自己紹介と静岡のなかかわりについてご紹介ください。

### 来街者の回遊促進 道路空間

石川 良文教授

静岡市の道路と拠点とをめぐって、静岡市は歩行者空間に強みがある街ですが、一言で言うなら、静岡市の南口に寂しさを感じます。これは全国的な「新幹線駅がある」で街が駅で分断されている現象です。また、御幸通りを境に、新静岡駅側と呉服町側に運動性が感じられていない。

### 個性打ち出し 街に価値もたらす

石川 良文教授

これらの課題を踏まえ、今後取り組みの提案をお願いします。島原 全国の前が閑散としていた静岡市は、まだ元気です。静岡の歩行者空間の快適さを表す象徴的なエリアなので、今後が気になります。

### 駅前空間と交通拠点の整備を

池田 豊人氏

静岡市の街は、青葉通り、呉服町、両替町、地下街などに老朽化を感じます。また新静岡駅周辺は、人通りが多いのに、他エリアとの連動がスムーズではありません。街づくりを、パブリックスペースと良い部分も失われかねません。新しい視点を取り入れた、段上の街づくりを必要とあります。

### パネリスト

静岡型MaaS基幹事業 実証プロジェクト 代表幹事 静岡鉄道 CSV推進室長 水野 雅晴氏

静岡市の道路と拠点とをめぐって、静岡市は歩行者空間に強みがある街ですが、一言で言うなら、静岡市の南口に寂しさを感じます。これは全国的な「新幹線駅がある」で街が駅で分断されている現象です。また、御幸通りを境に、新静岡駅側と呉服町側に運動性が感じられていない。

# 「人の幸せ」生み出す街づくりを

「人の幸せ」生み出す街づくりを。静岡市の道路と拠点とをめぐって、静岡市は歩行者空間に強みがある街ですが、一言で言うなら、静岡市の南口に寂しさを感じます。これは全国的な「新幹線駅がある」で街が駅で分断されている現象です。また、御幸通りを境に、新静岡駅側と呉服町側に運動性が感じられていない。

